

## 京都大学 理学研究科 修士課程 のディプロマポリシー

DP1:  
理学に関する高度な専門知識を習得し、世界水準の理学研究を理解することができる

DP2:  
理学における個々の知識を総合化し、既成の権威や概念に囚われることなく、それぞれの専門領域において創造性の高い研究を行う素地ができている

DP3:  
科学・技術的な課題について理学の知識を用いた解決策を提示でき、また、人類が現在直面している課題や将来直面する可能性のある課題についても、それを把握・予測し、広く深い科学的根拠に基づき解決方法を構想できる

DP4:  
理学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その発展に寄与することを目指した行動ができる

DP5:  
理学に関して、物事を俯瞰する幅広い視野と教養を身につけ、異なる文化・分野の人々とも円滑にコミュニケーションできる

### 数学系

### 数理解析系

## 特殊研究に基づく修士論文提出と研究発表

M2

数学特殊研究 III, IV  
数学研究 C, D

数理解析特殊研究 IIA, IIB  
セミナー研究 c, d

QE  
実施

整数論, 代数幾何学, 位相幾何学, 微分幾何学,  
確率論, 偏微分方程式, 数理物理学, 函数解析, 函数解析続論, 表現論  
代数学特論, 幾何学特論, 解析学特論, 計算機科学, 数理科学特論  
数理ファイナンス, 年金制度設計論, 保険数学・保険数学演習  
数学特別講義(集中)

プログラム理論特論  
数理解析特別講義(集中)

M1

数学特殊研究 I, II  
数学研究 A, B  
数学論文の書き方

数理解析特殊研究 IA, IB  
セミナー研究 a, b

## 各専門別ゼミナールでの研究指導

準正課教育  
正課外活動

留学  
TA・RA  
学会発表  
論文投稿

学部での代数学, 幾何学, 解析学, 計算機科学, … などの修得に基づく

# 京都大学大学院 理学研究科 数学・数理解析専攻

## 京都大学 理学研究科 博士後期課程 の ディプロマポリシー

DP1:  
物事を俯瞰する幅広い視野と教養、高度な数理能力、理学の体系的・先端的知識を備え、それらを柔軟に応用する能力を身につけていく

DP2:  
理学に関する深い学識に基づき、既存の見方にとらわれない自由な発想力を發揮して、それらを創造的に展開して新たな知的価値を創出することができる

DP3:  
科学・技術および広汎な社会的課題について理学の知識を総合して複数の解決策を提示でき、また、人類が現在直面している課題や将来直面する可能性のある課題についても、それを把握・予測し、広く深い科学的根拠に基づいて、柔軟かつ的確に対応できる高度な解決力を有している

DP4:  
理学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その発展に寄与することを目指した行動を通して、人や自然との調和ある共存に貢献できる

DP5:  
理学に関して、物事を俯瞰する幅広い視野と教養を身につけ、その研究成果を世界に向けて発信できる高い能力を有している

数学系

数理解析系

D3 ゼミナールに基づく博士論文提出と研究発表

D2 各専門別ゼミナール

数学特別講義

各専門別セミナー研究

数理解析特別講義

D1 各専門別ゼミナールでの研究指導

修士課程までに培った能力を土台とする

スーパーグローバル大学創成支援事業  
数学プログラム

準正課教育  
正課外活動  
  
留学  
TA・RA  
学会発表  
論文投稿  
研究費申請

# 京都大学大学院 理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻

## 京都大学 理学研究科 修士課程 の ディプロマポリシー

DP1: 理学に関する高度な専門知識を習得し、世界水準の理学研究を理解することができる	DP2: 理学における個々の知識を総合化し、既成の権威や概念に囚われることなく、それぞれの専門領域において創造性の高い研究を行う素地ができる	DP3: 科学・技術的な課題について理学の知識を用いた解決策を提示でき、また、人類が現在直面している課題や将来直面する可能性のある課題についても、それを把握・予測し、広く深い科学的根拠に基づき解決方法を構想できる	DP4: 理学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その発展に寄与することを目指した行動ができる	DP5: 理学に関して、物事を俯瞰する幅広い視野と教養を身につけ、異なる文化・分野の人々とも円滑にコミュニケーションできる
--	---	---	--	--

### 物理学第一分野

#### 特殊研究に基づく修士論文提出

物理学第一特殊研究C,D  
各専門別ゼミナールC,D  
理論物理学特論 I-1, I-2  
理論物理学特論 II-1, II-2  
実験物理学特論 I-1, I-2  
実験物理学特論 II-1, II-2  
実験物理学特論 III-1, III-2  
統計物理基礎論  
ソフトマター基礎論  
物理学第一分野特別講義  
専攻共通特別講義・実習

#### 物理学第一特殊研究A,B 各専門別ゼミナールA,B

理論物理学特論 I-1, I-2  
理論物理学特論 II-1, II-2  
実験物理学特論 I-1, I-2  
実験物理学特論 II-1, II-2  
実験物理学特論 III-1, III-2

#### 各専門別ゼミナールでの研究指導

### 物理学第二分野

#### 特殊研究に基づく修士論文提出

物理学第二特殊研究II  
各専門別ゼミナール  
素粒子基礎論  
核多体系力学A,B, 核物質基礎論  
核多体系物理学  
高エネルギー天文学I,II  
高エネルギー素粒子物理学A,B  
原子核ハドロン物理学A,B  
放射線物理学, 核物性学  
素粒子科学特論A,B  
物理学第二特別講義  
専攻共通特別講義  
物理学第二特殊研究I  
各専門別ゼミナール

場の理論A,B  
素粒子基礎論A  
原子核基礎論A,B, 核構造物理学A,B  
天体核物理学I,II  
基礎宇宙論, 宇宙論特論, 重力特論  
加速器物理学A,B  
高強度レーザー科学

### 宇宙物理学分野

#### 研究発表と提出

宇宙物理学特殊研究A,B  
各専門別ゼミナールC,D

太陽物理学I,II  
太陽・宇宙プラズマ物理学  
恒星天文学特論  
惑星物理学  
銀河天文学  
活動銀河物理学  
装置開発概論  
恒星物理学  
宇宙ガスダイナミクス  
宇宙学  
高エネルギー天文学I,II  
宇宙物理学特別講義  
専攻共通特別講義

各専門別ゼミナールA,B

### 準正課教育 正課外活動

専門英語習得  
留学  
TA  
教室発表会  
ローレンツ祭  
学会発表  
論文投稿

M2

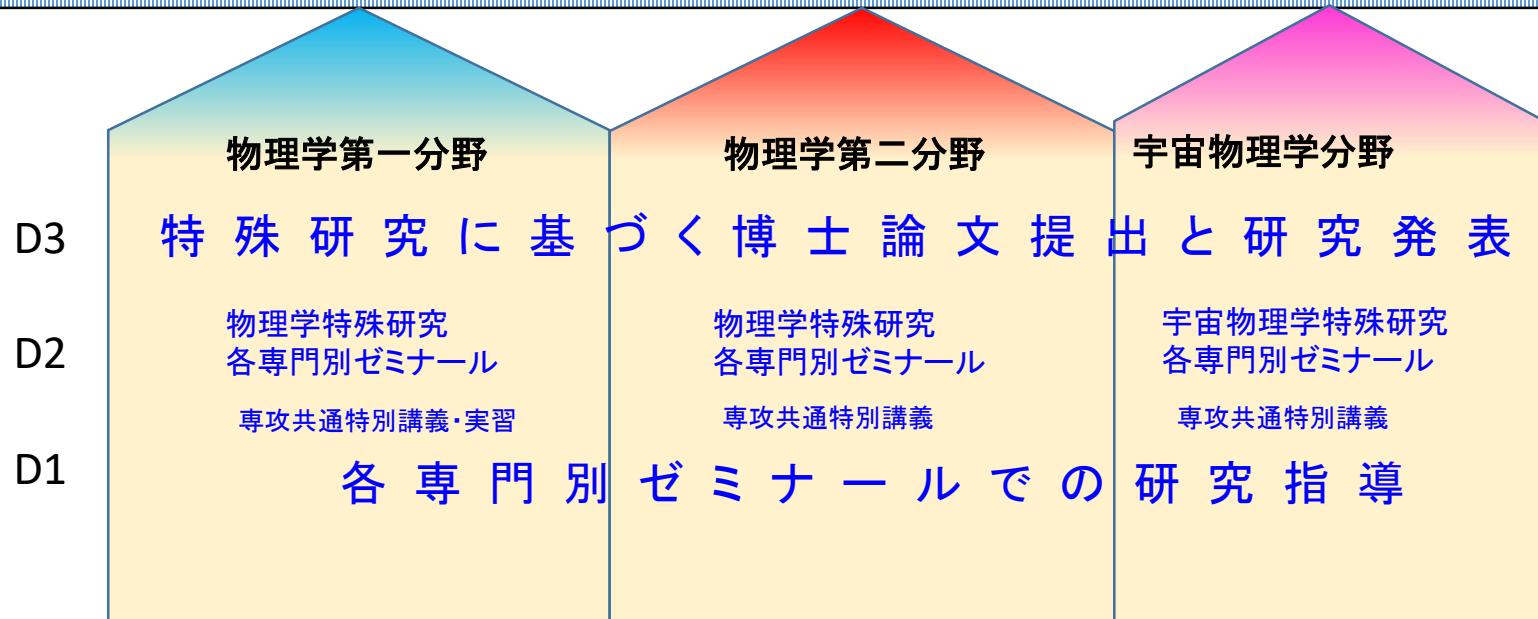
M1

学部での力学、電磁気学、統計力学、量子力学、物理数学、天文学、、、などの修得に基づく

# 京都大学大学院 理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻

## 京都大学 理学研究科 博士後期課程 の ディプロマポリシー

DP1: 物事を俯瞰する幅広い視野と教養、高度な数理能力、理学の体系的・先端的知識を備え、それらを柔軟に応用する能力を身についている	DP2: 理学に関する深い学識に基づき、既存の見方にとらわれない自由な発想力を發揮して、それらを創造的に展開して新たな知的価値を創出することができる	DP3: 科学・技術および広汎な社会的課題について理学の知識を総合して複数の解決策を提示でき、また、人類が現在直面している課題や将来直面する可能性のある課題についても、それを把握・予測し、広く深い科学的根拠に基づいて、柔軟かつ的確に対応できる高度な解決力を有している	DP4: 理学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その発展に寄与することを目指した行動を通して、人や自然との調和ある共存に貢献できる	DP5: 理学に関して、物事を俯瞰する幅広い視野と教養を身につけ、その研究成果を世界に向けて発信できる高い能力を有している
---	---	--	---	--



修士課程までに培った能力を土台とする

準正課教育  
正課外活動

専門英語習得  
留学  
TRA  
学会発表  
論文投稿  
ローレンツ祭  
教室発表会  
D3発表会  
研究費申請

# 京都大学大学院 理学研究科 地球惑星科学専攻

## 京都大学 理学研究科 修士課程 の ディプロマポリシー

DP1:  
理学に関する高度な専門知識を習得し、世界水準の理学研究を理解することができる

DP2:  
理学における個々の知識を総合化し、既成の権威や概念に囚われることなく、それぞれの専門領域において創造性の高い研究を行う素地ができる

DP3:  
科学・技術的な課題について理学の知識を用いた解決策を提示でき、また、人類が現在直面している課題や将来直面する可能性のある課題についても、それを把握・予測し、広く深い科学的根拠に基づき解決方法を構想できる

DP4:  
理学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その発展に寄与することを目指した行動ができる

DP5:  
理学に関して、物事を俯瞰する幅広い視野と教養を身につけ、異なる文化・分野の人々とも円滑にコミュニケーションできる



学部での地球惑星科学関係科目、数学、物理学、化学、生物学などの修得に基づく

# 京都大学大学院 理学研究科 地球惑星科学専攻

## 京都大学 理学研究科 博士後期課程 の ディプロマポリシー

DP1: 物事を俯瞰する幅広い視野と教養、高度な数理能力、理学の体系的・先端的知識を備え、それらを柔軟に応用する能力を身についている	DP2: 理学に関する深い学識に基づき、既存の見方にとらわれない自由な発想力を發揮して、それらを創造的に展開して新たな知的価値を創出することができる	DP3: 科学・技術および広汎な社会的課題について理学の知識を総合して複数の解決策を提示でき、また、人類が現在直面している課題や将来直面する可能性のある課題についても、それを把握・予測し、広く深い科学的根拠に基づいて、柔軟かつ的確に対応できる高度な解決力を有している	DP4: 理学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その発展に寄与することを目指した行動を通して、人や自然との調和ある共存に貢献できる	DP5: 理学に関して、物事を俯瞰する幅広い視野と教養を身につけ、その研究成果を世界に向けて発信できる高い能力を有している
---	---	--	---	--

### 地球物理学分野

D3 特殊研究に基づく博士論文提出と研究発表

地球物理学特殊研究  
各専門別ゼミナー

D1 各専門別ゼミナーでの研究指導

専攻共通特別講義

### 地質学鉱物学分野

地質学鉱物学特殊研究  
各専門別ゼミナー

### 準正課教育 正課外活動

留学  
TA・RA  
学会発表  
論文投稿  
研究費申請

修士課程までに培った能力を土台とする

# 京都大学大学院 理学研究科 化学専攻

## 京都大学 理学研究科 修士課程 の ディプロマポリシー

DP1:  
理学に関する高度な専門知識を習得し、世界水準の理学研究を理解することができる

DP2:  
理学における個々の知識を総合化し、既成の権威や概念に囚われることなく、それぞれの専門領域において創造性の高い研究を行う素地ができる

DP3:  
科学・技術的な課題について理学の知識を用いた解決策を提示でき、また、人類が現在直面している課題や将来直面する可能性のある課題についても、それを把握・予測し、広く深い科学的根拠に基づき解決方法を構想できる

DP4:  
理学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その発展に寄与することを目指した行動ができる

DP5:  
理学に関して、物事を俯瞰する幅広い視野と教養を身につけ、異なる文化・分野の人々とも円滑にコミュニケーションできる

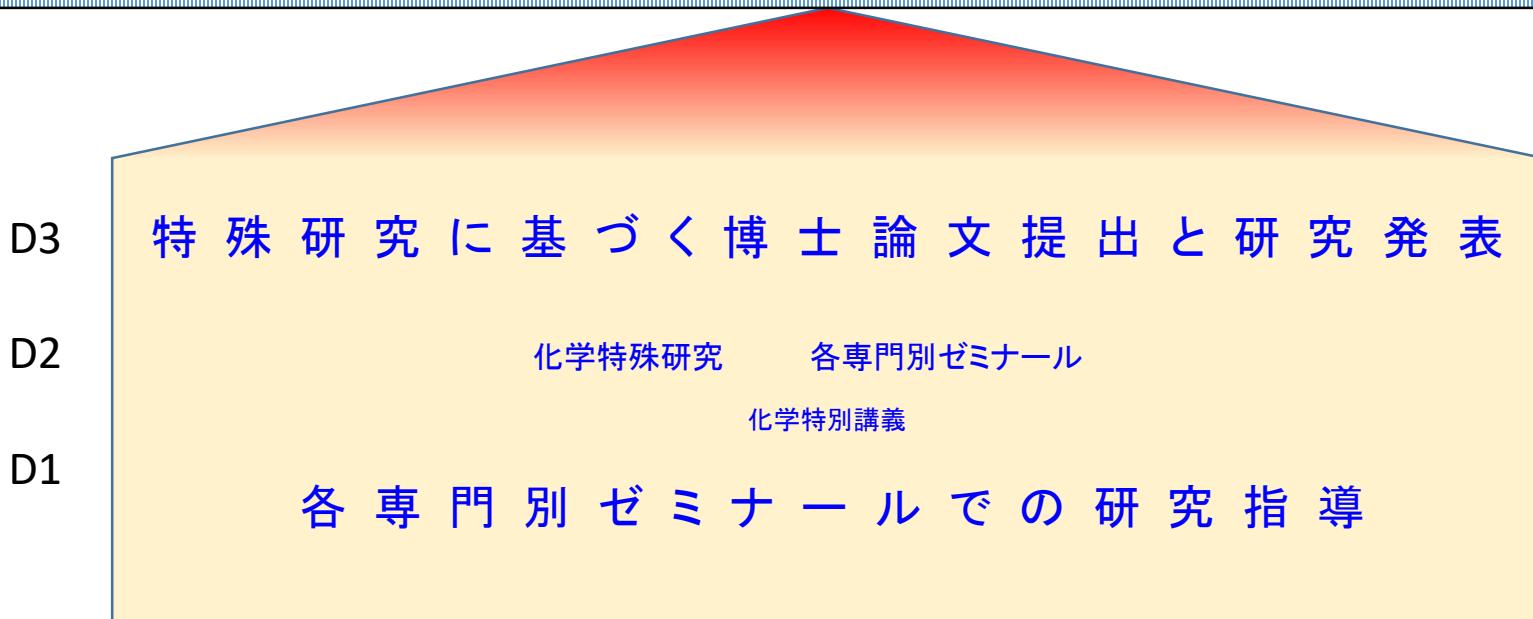


学部での有機化学、生物化学、物理化学、無機化学、分析化学、、などの修得に基づく

# 京都大学大学院 理学研究科 化学専攻

## 京都大学 理学研究科 博士後期課程 の ディプロマポリシー

DP1: 物事を俯瞰する幅広い視野と教養、高度な数理能力、理学の体系的・先端的知識を備え、それらを柔軟に応用する能力を身についている	DP2: 理学に関する深い学識に基づき、既存の見方にとらわれない自由な発想力を發揮して、それらを創造的に展開して新たな知的価値を創出することができる	DP3: 科学・技術および広汎な社会的課題について理学の知識を総合して複数の解決策を提示でき、また、人類が現在直面している課題や将来直面する可能性のある課題についても、それを把握・予測し、広く深い科学的根拠に基づいて、柔軟かつ的確に対応できる高度な解決力を有している	DP4: 理学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その発展に寄与することを目指した行動を通して、人や自然との調和ある共存に貢献できる	DP5: 理学に関して、物事を俯瞰する幅広い視野と教養を身につけ、その研究成果を世界に向けて発信できる高い能力を有している
---	---	--	---	--



準正課教育  
正課外活動

留学  
TA・RA  
学会発表  
論文投稿  
研究費申請

修士課程までに培った能力を土台とする

# 京都大学大学院 理学研究科 生物科学専攻

## 京都大学 理学研究科 修士課程 のディプロマポリシー

DP1:  
理学に関する高度な専門知識を習得し、世界水準の理学研究を理解することができる

DP2:  
理学における個々の知識を総合化し、既成の権威や概念に囚われることなく、それぞれの専門領域において創造性の高い研究を行う素地ができている

DP3:  
科学・技術的な課題について理学の知識を用いた解決策を提示でき、また、人類が現在直面している課題や将来直面する可能性のある課題についても、それを把握・予測し、広く深い科学的根拠に基づき解決方法を構想できる

DP4:  
理学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その発展に寄与することを目指した行動ができる

DP5:  
理学に関して、物事を俯瞰する幅広い視野と教養を身につけ、異なる文化・分野の人々とも円滑にコミュニケーションできる

### 動物学系

#### M2 特殊研究

動物学特殊研究C,D  
専門別ゼミナールC,D  
特論B

### 植物学系

#### M2 に基づく修士論文提出

植物学特殊研究C,D  
専門別ゼミナールC,D  
特論B

### 生物物理学系

#### M2 論文提出と研究発表

生物物理学特殊研究C,D  
専門別ゼミナールC,D  
概論、特論

### 霊長類学・野生動物系

霊長類学・野生動物特殊研究C,D  
専門別ゼミナールC,D  
特論

準正課教育  
正課外活動

留学  
TA・RA  
学会発表  
論文投稿

統合生物多様性論

ゲノム科学総論

生物科学特殊講義

動物学特殊研究A,B  
専門別ゼミナールA,B  
特論A

植物学特殊研究A,B  
専門別ゼミナールA,B  
特論A

生物物理学特殊研究A,B  
専門別ゼミナールA,B  
概論、特論

霊長類学・野生動物特殊研究A,B  
専門別ゼミナールA,B  
概論、基礎論、特論

#### M1

学部での生物科学系の幅広い科目の修得に基づく

# 京都大学大学院 理学研究科 生物科学専攻

## 京都大学 理学研究科 博士後期課程 の ディプロマポリシー

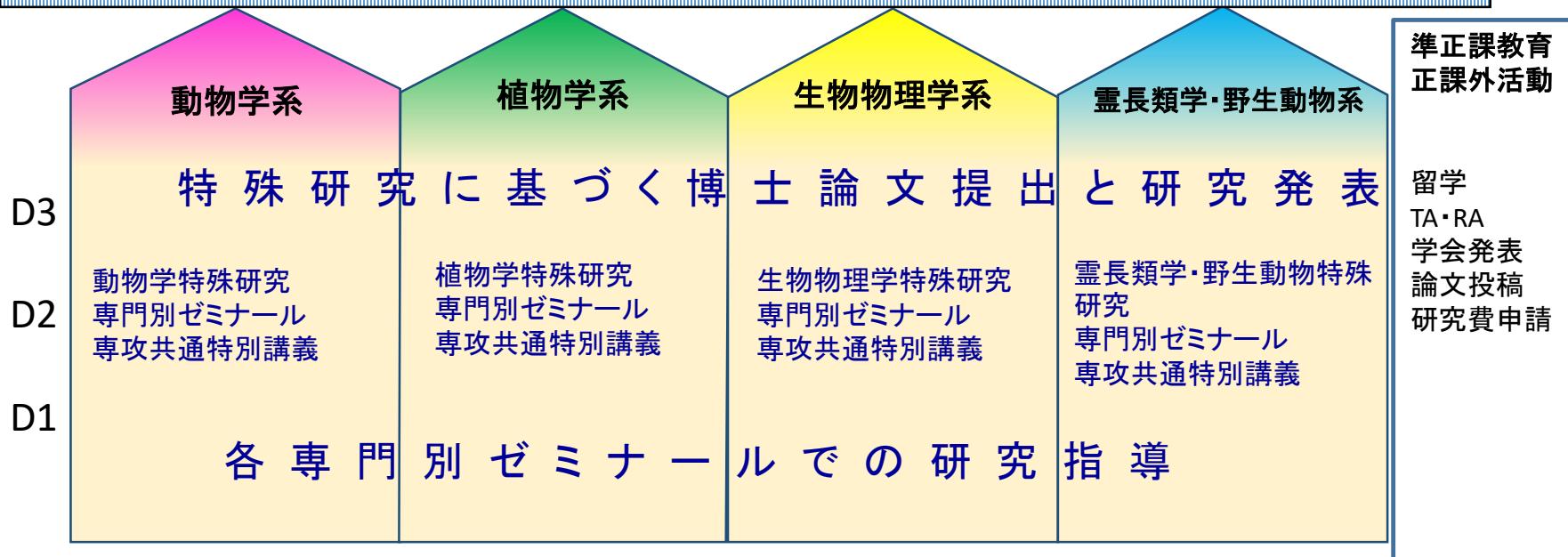
DP1:  
物事を俯瞰する幅広い視野と教養、高度な数理能力、理学の体系的・先端的知識を備え、それらを柔軟に応用する能力を身についている

DP2:  
理学に関する深い学識に基づき、既存の見方にとらわれない自由な発想力を發揮して、それらを創造的に展開して新たな知的価値を創出することができる

DP3:  
科学・技術および広汎な社会的課題について理学の知識を総合して複数の解決策を提示でき、また、人類が現在直面している課題や将来直面する可能性のある課題についても、それを把握・予測し、広く深い科学的根拠に基づいて、柔軟かつ的確に対応できる高度な解決力を有している

DP4:  
理学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その発展に寄与することを目指した行動を通して、人や自然との調和ある共存に貢献できる

DP5:  
理学に関して、物事を俯瞰する幅広い視野と教養を身につけ、その研究成果を世界に向けて発信できる高い能力を有している



修士課程までに培った能力を土台とする